

膵癌と地域連携

自治医科大学附属病院 消化器一般移植外科
准教授 笹沼 英紀
(自治医科大学附属病院 中央手術部 部長)

膵癌は依然として予後不良の悪性腫瘍であり、その治療成績の向上は重要な課題である。膵癌は早期発見が困難な場合が多く、診断時に進行していることも少なくない。近年、切除可能性分類(R, BR, UR)に基づき、手術単独ではなく、術前補助化学療法や放射線治療を組み合わせた集学的治療が治療成績を向上させることができている。手術手技も進歩しており、ロボット支援手術の導入も進んでいる。これらの高度な治療を遂行するには、胆膵内科、肝胆膵外科、放射線科、臨床腫瘍科、緩和ケア科、看護師、薬剤師、MSWなど、院内の多職種が緊密に連携するチーム医療が不可欠である。さらに、診断から治療、終末期医療に至るまで患者を継続的に支援するためには、基幹病院と地域の診療所(病診連携)、病院(病病連携)、調剤薬局、在宅医療チーム、さらには就労支援機関や行政まで含めたシームレスな「地域連携」が極めて重要となる。本講演では、膵癌診療の最新の動向と、集学的治療を支える地域連携の重要性について概説する。

略歴

出身校: 自治医科大学医学部 平成6年(1994年)卒業

職歴:

1994年5月	自治医科大学附属病院	初期研修
1996年5月	芳賀赤十字病院 外科	
1998年5月	栃木県栗山立湯西川診療所	所長
2000年5月	自治医科大学附属病院 消化器一般外科	後期研修
2002年4月	南那須広域行政組合立 那須南病院 外科	部長
2008年4月	自治医科大学 消化器一般外科	
2009年9月	デンマーク オーフス大学 肝胆膵外科部門	
2010年9月	小山市民病院 外科	
2011年9月	自治医科大学 消化器一般移植外科	
2013年4月	自治医科大学 消化器一般移植外科	講師
2017年8月	自治医科大学 消化器一般移植外科	准教授

学位:

2008年2月「大腸癌同時性肝転移の一期的手術に関する基礎的・臨床的研究」(自治医科大学)

所属学会:

日本外科学会:専門医、指導医

日本消化器外科学会:専門医、指導医
日本肝胆脾外科学会、高度技能専門医
日本腹部救急学会 認定教育医
日本脾臓学会 認定指導医
日本胆道学会 認定指導医
日本超音波医学会 指導医、専門医、
日本医師会認定産業医

学会役職:

日本肝胆脾外科学会 評議員
日本腹部救急学会 評議員
日本超音波医学会 代議員、安全委員会委員
日本胆道学会 評議員

2023年

ロボット肝胆脾外科手術:Certificate 取得(デンマークコペンハーゲン大学肝胆脾外科部門)

受賞:

- 2017年12月 ePoster Award, 腹腔鏡下脾体尾部切除における電動式自動縫合器を使った脾離断定型化の試み, 日本国際外科学会
- 2016年2月 病院長賞, 自治医科大学附属病院
- 1996年 ベストポスター賞, 広範囲な転移を伴う悪性褐色細胞腫の2治験例, 日本国際外科学会